

平成21年度～23年度

兵庫県立三田祥雲館高等学校 学力向上プロジェクト

1 研究指定3年間の目標

- (1) 教員が互いに授業を公開しあうことにより、その手法や技術を共有し、継承及び改善を図る。
- (2) 3年間の研究会を積み上げ、4年目以降も継続して実施できる効果的な授業改善のシステムを構築する。
- (3) 改訂指導要領を研究し、教科の指導計画、指導方法を開発、改善する。

2 第1回授業研究会 「研究授業」および「学習活動研究」5月25日

- | | |
|----|-------------------------------------------------------------------|
| 目的 | I 中学校での指導を踏まえた、1年次当初の授業のあり方を考える。 |
| | II 中間考査前に行った生徒による授業評価（4月から中間考査前までの授業）の結果を考慮した授業を行う。 |
| | III 1年間の学習活動シラバス（目標、授業計画、週末課題や小テスト、補習）を提示し、長期スパンの指導方法について意見交換を行う。 |

第I分科会『研究授業』

- 1 研究授業について（ポストイットの利用）
- 2 中高ブリッジの意見（中学校の先生からのご意見）

第II分科会『教科の学習活動』（国語）、（数学）、（英語）

- 1 昨年度1年次生の指導経過の報告
- 2 昨年度1年次の指導結果について、模試結果などを参考に検証する
- 3 本年度の授業計画について意見交換

3 第2回授業研究会 『研究授業』

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 目的 | I 授業アンケート（5月、7月、10月考査前）の結果を考慮した授業を行う。 |
| | II 単元計画、指導目標と評価を考慮した授業を行う。 |
| | III 生徒の実態に応じた指導内容、指導方法の工夫をする。 |

- (1) 実施日 10月26日（月）6校時：研究授業 放課後：研修会
- (2) 研究会テーマ 上記の目的I II III 等について、意見交換を行う。

(3) 研究授業

「国語総合」クラス 1-6



「現代社会」クラス 1-3



「数学 I」(基礎) クラス 1-2



「数学 I」(応用) クラス 1-2



「理科総合 A」クラス 1-5



「英語 I」(応用) クラス 1-1



「英語 I」(基礎) クラス 1-4

(4) 参加者

助言者	国語科	神戸親和女子大学	教授
	地公科	滋賀大学	教授
	数学科	関西学院大学	講師
	理科	兵庫県立教育研修所	指導主事
	英語科	兵庫県立教育研修所	主任指導主事

中学校教諭、高等学校教諭

本校職員(国語、地歴公民、数学、理、英語科、学力向上委員他)

(5) 研究会の流れ

13:40	受付	
14:00	研究会の趣旨説明	於、会議室
14:20~15:10	研究授業	於、上記教室 終了時に付箋を回収
15:10~15:35	移動	教室 → 会議室 → 分科会場
15:35~16:30	分科会	終了時に各会場でアンケート記入

*分科会場 国語 3-1 教室 地歴公民 3-2 数学 3-3 理科 化学実験室 英語 3-5

(6) 分科会

15:35	助言者紹介
15:40~15:55	研究授業について ① 授業者より(本時の授業と授業アンケートなど) ② 付箋のパネルを発表する(赤:良い点・黄:改善すべき点)
15:55~16:35	助言者より ① 授業に関して助言 ② 講話
終了後	アンケート記入

国語 分科会



地歴公民 分科会



数学 分科会



理科 分科会



英語 分科会



(7) 報告

研究会の結果を職員会議に報告

三田祥雲館 における 学力向上スパイラル

